石川県立津幡高等学校

創立100周年記念

記念式典

日時：令和５年
10月28日（土）午前10時～
会場：津幡町文化会館　シグナス

- 開式の辞
- 国歌斉唱
- 学校長式辞
- 挨　　拶
  石川県知事　馳　浩
- 祝　　辞
  衆議院議員　西田　昭二
  石川県議会議長　焼田　宏明
  津幡町長　矢田　富郎
- 来賓紹介
- 祝電披露
- 表彰状贈呈
  特別功労者表彰
  永年勤続者表彰
- 受賞者代表謝辞
- 生徒代表のことば
- 校歌斉唱
- 閉式の辞

特別功労者（敬称略）

山本　智秀

永年勤続者（50音順敬称略）

宇波真奈美	大日向茂樹
北橋　義仁	木村智恵美
勝二　国博	瀧　郁子
竹本　茜	東山　耕平
星野　敏子	松井　元雄
水木由紀夫	山本　律子
山森　征治	

記念講演

日時：令和５年
10月28日（土）午前11時～
会場：津幡町文化会館　シグナス

◆ 演題

「無限の可能性への挑戦」

◆ 講師

いのうえ　こうせい
井上　康生氏

全日本男子柔道強化チーム　前監督
東海大学
スポーツプロモーションセンター教授

●講師プロフィール

1978年５月生まれ。宮崎県出身。東海大学付属相模高等学校を経て、東海大学体育学部武道学科卒業。同大学大学院体育学研究科修士課程修了。切れ味鋭い内股を武器に、大内刈、大外刈、背負投げなどを得意とする攻撃型柔道で数々の結果を残した。99、01、03世界選手権100キロ級で優勝。00年シドニーオリンピック100キロ級で金メダルを獲得。01～03年全日本選手権優勝。08年に第一線を退き、09年より２年間、英国に留学。帰国後の11年から全日本男子柔道強化チームコーチ、12年11月より全日本男子柔道強化チーム監督を務め、16年リオオリンピックでは全階級メダル獲得、21年東京オリンピックでは史上最多の５個の金メダルを獲得。同年９月に２期９年の任期を終え退任。現在、全日本柔道連盟強化副委員長及びブランディング戦略推進特別委員会委員長、日本オリンピック委員会パリ五輪対策プロジェクトリーダー、特定非営利活動法人JUDOs理事長、ジャパンエレベーターサービスホールディングス柔道部ゼネラルマネジャーを務める。

記念祝賀会

日時：令和５年
10月28日（土）午後２時30分～
会場：ホテル日航金沢

◆ 開宴のことば
◆ 実行委員長挨拶
◆ 祝　　辞
◆ 鏡 開 き
◆ 乾　　杯
◆ アトラクション
◆ 万歳三唱
◆ 閉宴のことば

100周年記念事業

◆視聴覚室改修事業
◆創立100周年記念碑制作事業
◆100年史刊行事業

沿　　革

大正13年	津幡町他13町村組合立河北農蚕学校として開校
15年	石川県立津幡農蚕学校と改称
昭和２年	津幡町他５町村組合立津幡高等女学校開校
11年	石川県立津幡農蚕学校から石川県立津幡農学校と改称
23年	石川県立津幡農学校と石川県立津幡高等女学校を統合し、石川県立津幡高等学校開校 定時制課程設置（平成８年閉校）
24年	総合制に普通、農業、商業、家庭課程を設置 （昭和28年家庭科、昭和45年商業科募集停止）
44年	全日制農業科を廃止し、新たに園芸科を設置
61年	全日制普通科に体育コースを設置
平成元年	ソウル体育高校と姉妹校提携（平成24年解消）
４年	全日制に普通科体育コースから体育科（１クラス）を設置
９年	体育科２クラスになる
13年	新タイプ（総合学科６クラス＋体育科２クラス）の学校に改編（普通科、園芸科募集停止）
17年	総合学科４クラスになる
25年	体育科をスポーツ健康科学科に学科改称
27年	総合学科３クラスになる
令和２年	総合学科２クラスになる
５年	県立津幡高等学校創立100年

石川県立津幡農学校 校歌

作詞：鴻巣 盛廣
作曲：岡野 貞一

一、山脈　緑に背後を廻り
前には千町田連なり開け
涓流不断の楽を奏して
さやけく静かに流るる所
学の殿堂　礎堅く
集へる健児が　意気こそ揚れ

二、思へば　遥けき天つ神代の
畏き神業学び伝えて
愈々栄えて広がり来つる
農蚕二つの貴き業ぞ
我等が責務と使命は重し
いそしみ励まむ　皇国の為に

三、瑞穂の国てふ　その名に負ひて
八束にしなへる　厳しの垂れ穂
国民養う糧と実りて
新桑食ましめ飼ふ蚕が吐ける
白珠真珠と輝く糸は
海原渡りて吾が国富ます

津幡農蚕学校

雨読晴耕

農学校運動会

石川県立津幡高等女学校 校歌

作詞：相馬 御風
作曲：弘田竜太郎

一、希望の色の浅緑
澄み渡りたる大空に
雄々しく高く　そびえたつ
倶利伽羅　医王　白山の
おのづからなる　けだかさを
心にもちて　いざゆかん

二、千町の小田をうるおしつ
つかのまだにも休まずに
流れ流るる津幡川
ああその如く　たゆみなく
学びいそしみはげみつつ
道ひとすじにすすまなん

三、嵐をしのぎ　雪にたへ
ときわの色の鮮やかに
のびてやまざる　姫小松
ああその如く　すこやかに
御代の光のあきらけき
学びの園においたたん

女学校校舎全景

女学校校舎正面

女学校運動会

石川県立津幡高等学校 校歌

作詞：川口　久雄
作曲：佐々木宣男

一、霞に光る　河北潟
かげろうもゆる　加賀の野の
白鳥丘の　花すみれ
夢も羽ばたけ　魂に
北斗の星をいただきて
至上の善に　生きむかな

二、倶利伽羅山の　月冴えて
照らす歴史の　永久の影
たゆまぬ思惟　深めつつ
日にあらたなれ　生命なる
北斗の星と澄みあかる
不滅の真理　究めなむ

三、雲たたなわる　医王嶺や
砂丘を洗う　越の海
浄らに勁き　熱情の
青潮と湧け　世の為に
みよや北斗の星の如
ゆるがぬ気魄　貫ぬかむ